

News Release



志賀原子力発電所 2号機耐震安全性向上工事および 敷地内での大深度ボーリング工事の実施について

平成25年11月1日
北陸電力株式会社

当社は、志賀原子力発電所 2号機の耐震安全性向上工事および敷地内での大深度ボーリング工事を実施することとしましたので、お知らせします。

1. 志賀原子力発電所 2号機の耐震安全性向上工事

当社は、志賀原子力発電所の安全性向上施策に取り組んでいるところですが、耐震安全性をより一層高めることを目的に、現在の運転停止期間を利用して、11月4日より、2号機の原子炉建屋屋根トラス^{※1}と原子炉建屋クレーンの耐震安全性向上工事を開始することにしました。

今後も、耐震安全性向上に向け、適切に対応してまいります。

2. 志賀原子力発電所敷地内での大深度ボーリング工事

地下深部の三次元地下構造の確認や地質および地質構造に関するデータの充実^{※2}を図ることを目的に、11月7日より、敷地内で大深度ボーリング工事を開始することにしました。

当社は、引き続き、新規制基準への確に対応し、志賀原子力発電所のより一層の安全確保に取り組んでまいります。

以上

添付資料1 志賀原子力発電所 2号機の原子炉建屋屋根トラスおよび原子炉建屋クレーンに係る耐震安全性向上工事の概要

添付資料2 大深度ボーリング工事の概要

※1 トラス

構造形式の一つで、屋根の剛性を確保するために設けられた、三角形を基本単位とした鋼製の骨組み

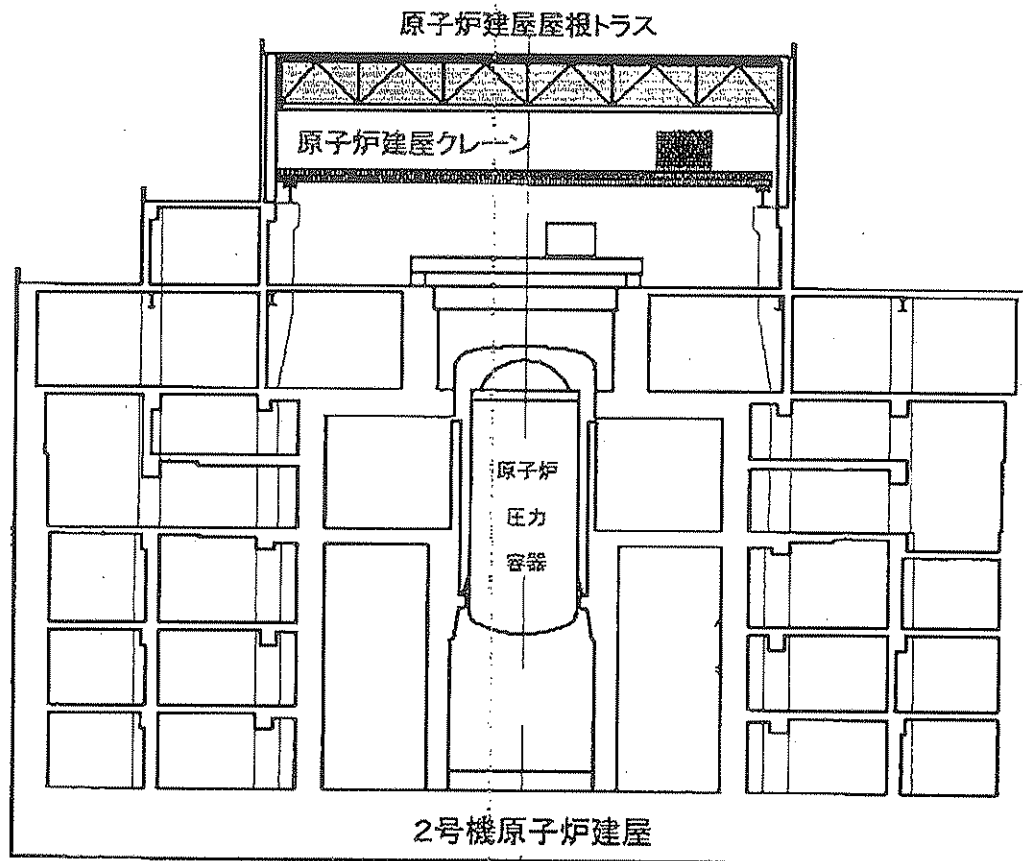
※2 地下深部の三次元地下構造の確認や地質および地質構造に関するデータの充実

地下深部の地層の傾斜や褶曲（地層が曲がりくねるように変形した現象）等を三次元的に確認し、地下深部の地震波の速度構造や地盤の減衰特性等が把握できるデータを充実させること

志賀原子力発電所 2号機の
原子炉建屋屋根トラスおよび原子炉建屋クレーンに係る
耐震安全性向上工事の概要

【工事内容】

- ・ 原子炉建屋屋根トラス※¹
トラスの鉄骨部材を補強する。
- ・ 原子炉建屋クレーン
クレーンの脱線防止ラグ※²等を補強する。



原子炉建屋の縦断面図

※1 トラス

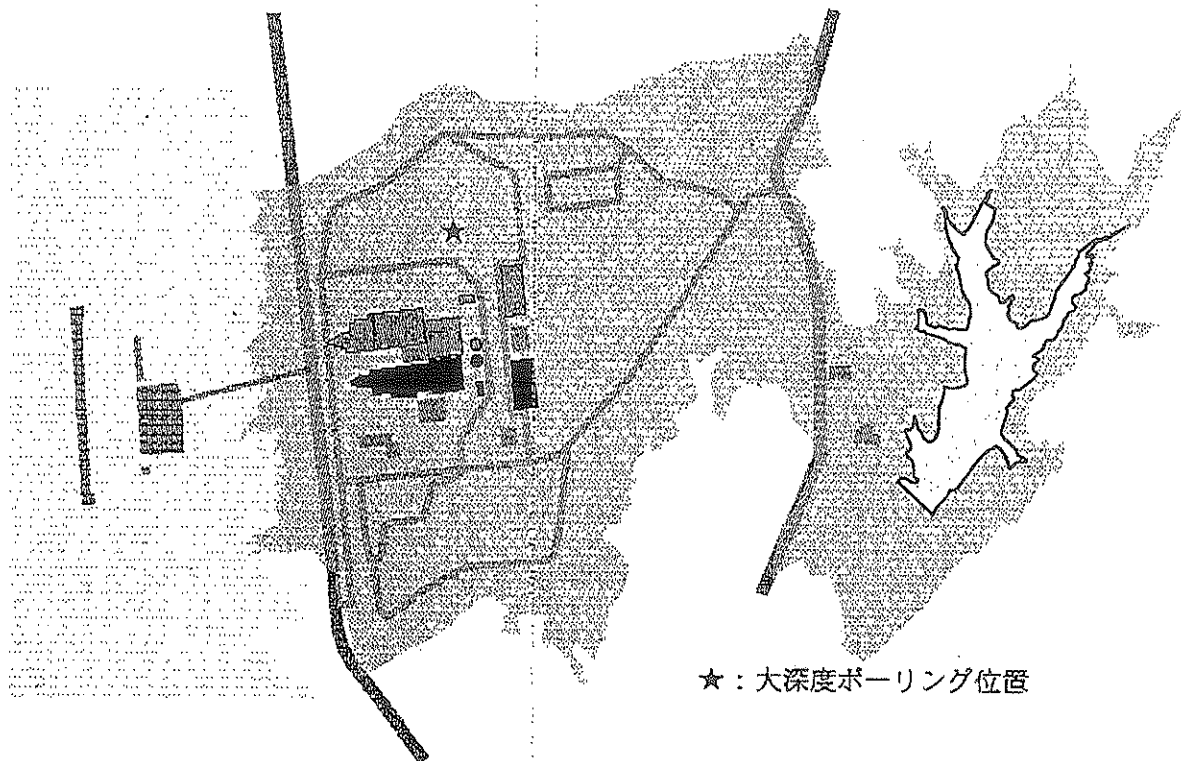
構造形式の一つで、屋根の剛性を確保するために設けられた、三角形を基本単位とした鋼製の骨組み

※2 脱線防止ラグ：

クレーンが走行レールから脱落するのを防止するための部品

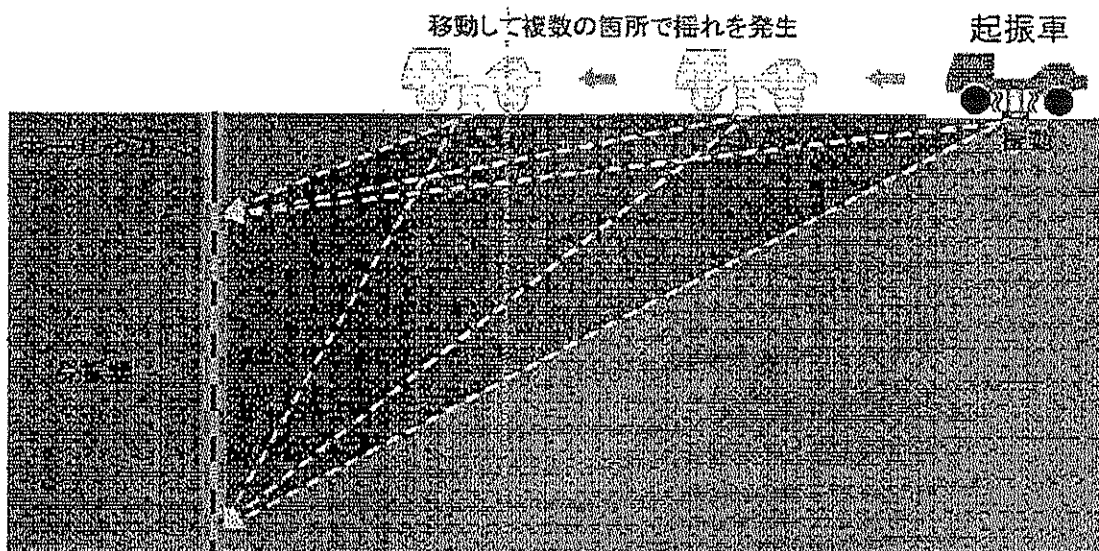
添付資料 2

大深度ボーリング工事の概要



★：大深度ボーリング位置

志賀原子力発電所敷地



(平成 24 年度第 27 回原子力規制委員会 資料 3-2 より抜粋)

大深度ボーリング孔を利用した地下構造の調査方法

調査方法：起振車で地下に振動を与え、ボーリング孔内の受振器で受振。受振データを解析することで、地下構造を三次元的に調査する。